

## 教員の取得学位及び主な著書・論文等

◆職 位：講師

◆氏 名：林 文子

◆取得学位：博士(人間健康科学)

◆主な著書・論文等

著書・論文等の名称	全著者名	掲載誌名	出版年月 (西暦)	巻	号	頁	授業内容に反映 している科目名
連載 集まる つながる 広がる 若手研究者のバトン 第31回 研究者としてのこれからの生き方	林文子	看護研究	2023年10月	56	5	393-397	
特集 若手研究者の活躍に向けて. 若手研究者の発信—JANS 若手の会エリアコーディネーターの活動から (東海エリア)	中西啓介、橋本侑美、林文子.	看護研究	2023年4月	56	2	130-131	
ターナー症候群女性のライフスパンを通じた健康管理プログラムの作成の検討～閉経期例の解析～	菅沼信彦、林文子、岸本佐智子.	成長科学協会研究年報	2022年12月	45		75-79	
愛知医科大学看護学部看護実践研究センター地域連携・支援部門～市民看護セミナーのあゆみと今後の展望～	二村純子、中村正子、森莉那、林文子、山本恵美子、佐藤ゆか.	愛知医科大学看護学部紀要	2021年12月	20		61-65	
Indication of Intravaginal Insemination for Infertility Treatment in Couples with Sexual Dysfunction	Kaseki H, Kaseki S, Shimizu M, Hayashi A, Suganuma N.	Rerpro Med Biol.	2021年3月	0	0	1-5	
看護実践研究センター【地域連携・支援部門】「子育て支援ネット・ながくて」における活動実績と今後の展望	林文子、二村純子、森莉那、志水己幸、佐々木裕子、山本恵美子、佐藤ゆか.	愛知医科大学看護学部紀要	2020年12月	19		131-133	
Factors associated with depression symptoms among pregnant women with gestational diabetes mellitus in Japan	Hayashi A, Oguchi H, Kozawa Y, Ban Y, Shinoda J, Suganuma N.	Drug Discov Ther.	2020年11月	14		232-238	
全国のターナー症候群患者会を通じた生殖補助医療に対する意識調査	菅沼信彦、林文子、岸本佐智子.	成長科学協会研究年報	2020年10月	43		105-111	
生殖補助医療に対するターナー症候群患者の意識調査	菅沼信彦、林文子、岸本佐智子.	成長科学協会研究年報	2019年8月	42		107-111	

Female Sexual Function Index 調査票を用いた青年期女性の性機能調査	岩田歩子、 <u>林文子</u> 、早乙女智子、菅沼信彦.	日本性科学会雑誌	2018年7月	36	1	37-44	
Daily walking is effective for the management of pregnant women with gestational diabetes mellitus	<u>Hayashi A</u> , Oguchi H, Kozawa Y, Ban Y, Shinoda J, Suganuma N.	J Obstet Gynaecol Res.	2018年7月	44	9	1731-1738	
Uterine transplantation-Toward clinical application in Japan	Suganuma N, <u>Hayashi A</u> , Kisu I, Banno K, Hara H, Mihara M.	Rerpro Med Biol.	2017年8月	16		305-313	
子宮のない女性における心身問題の対策としての子宮移植～わが国の現状と展望～	菅沼信彦、 <u>林文子</u> .	女性心身医学	2017年3月	21	3	271-276	
Daily walking decreases casual glucose level among pregnant women in the second trimester	<u>Hayashi A</u> , Matsuzaki M, Kusaka M, Shiraishi M, Haruna M.	Drug Discov Ther.	2016年9月	10		218-22	
硬膜外無痛分娩における助産ケアのあり方—臨床的検討を通して—	<u>林文子</u> 、北乾理恵、菅沼信彦、渡邊浩彦.	日本母性衛生学会誌	2016年7月	57	2	415-420	
Physical Activity for Gestational Diabetes Mellitus	<u>Hayashi A</u> , Suganuma N.	Clinics Mother Child Health.	2016年5月	13		238	
図説よくわかる臨床不妊症学 [一般不妊治療編] 改訂3版	編著者：柴原浩章、森本義晴、京野廣一、執筆者：藤間芳郎、田原隆三、小島聡子、市川智彦、松林秀彦、高見澤聡、鈴木達也、高橋敬一、澤井英明、平山史朗、石原理、家永登、遠藤俊明、齊藤英和、末永浩、谷口久哲、松田公志、藤井俊策、菅沼信彦、 <u>林文子</u> 、泉谷知明、前田長正、柴原浩章、伊藤啓二郎、森本義晴、戸屋真由美、中條友紀子、京野廣一、香山浩二、久保晴海.	中外医学社	2016年4月			194-197	
子宮移植とその問題点 産婦人科の実際—特集いま、性分化とその異常を考える	菅沼信彦、 <u>林文子</u> 、木須伊織、阪埜浩司、原尚子、三原誠.	産婦人科の実際	2015年10月	64	10	1309-1314	
性同一性障害者における生殖補助医療の展望	菅沼信彦、米盛由以子、 <u>林文子</u> 、堤下ゆきな、米澤慶子、早乙女智子.	女性心身医学	2015年3月	19	3	295-300	

妊娠糖尿病ハイリスク妊婦に対する、ウォーキングプログラムの実現可能性と効果の検証	林文子	公益財団法人聖ルカ・ライフサイエンス研究所年報	2013年6月	16		102-111	
葉酸添加チューイングガムのつわり症状改善効果の検証	林文子、渡邊浩子、春名めぐみ、菅沼信彦.	日本母性衛生学会誌	2012年4月	53	1	35-40	
葉酸添加チューイングガムによる葉酸補充とつわり症状改善効果の解析	林文子、渡邊浩子、原田結為子、廣渡由美子、廣渡恒治、武村明子、大沢政巳、亀田知美、菅沼信彦.	産婦人科の実際	2011年2月	60	2	269-274	
No relation between folate and homocysteine levels and depression in early pregnant women	Watanabe H, Suganuma N, Hayashi A, Hirowatari Y, Hirowatari T, Ohsawa M.	Biosci Trends.	2010年12月	4		344-50	
就業施設による助産師偏在化の原因究明ー京都府下の助産師・医師・看護師の意識調査を通してー	山内文、林文子、菅沼信彦.	産婦人科の進歩	2009年5月	61	2	90-98	

#### ◆競争的資金による主な研究

研究テーマ	実施年月(期間)	外部資金名	授業内容に反映している科目名
小児がん経験者の卵巣機能の長期フォローアップー脱落例を出さないための方策ー	2021年4月～2024年3月	科学研究費助成事業 基盤研究C (分担)	
妊娠糖尿病の一次予防に関するエビデンスの構築:非妊娠時の骨格筋量と血糖値の関連	2021年4月～2024年3月	科学研究費助成事業 若手研究B	
長期フォローアップ外来における小児がん経験者の卵巣ならびに性機能の解析	2018年4月～2021年3月	科学研究費助成事業 基盤研究C (分担)	
妊娠糖尿病の発症予防を目的とした妊婦の身体活動支援プログラムの構築	2017年4月～2021年3月	科学研究費助成事業 若手研究B	
The 31th European Society of Human Reproduction and Embryology (Lisbon, Portugal) での発表助成	2015年3月	公益財団法人京都大学教育研究振興財団国際研究集会発表助成・若手	
妊娠糖尿病 (GDM) 妊婦に対する、ウォーキングプログラムの実施可能性と効果の検証	2012年4月～2013年3月	公益財団法人聖ルカ・ライフサイエンス研究所「臨床疫学等に関する研究助成」	